2026 年 11 月 5 日

各 位

会社名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
（東証スタンダード・名証メイン コード：4667 ）
問合せ先 取締役経営管理本部長 曽我 泰典
（Tel 052－950－7500）

アイサンテクノロジーと A-Drive、三重県伊勢市の自動運転バス運行事業に継続参画

～市所有の「Minibus2.0」で AI 学習走行を実施し、レベル 4 の社会実装に向けた検証を推進～

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）およびグループ会社の A-Drive 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡部 定勝）は、三重県伊勢市が 2026 年 11 月 2 日から実施する自動運転バス運行事業に、昨年度に引き続き参画します。

今年度は、伊勢市が購入した株式会社ティアフォー製の自動運転 EV バス「Minibus2.0」を使用し、近鉄五十鈴川駅と内宮前を結ぶ区間で、レベル 4 実装に向けた AI 学習走行（※）および自動運転レベル 2 による一般試乗会を実施します。昨年度の走行で抽出した課題を踏まえ、AI の活用と既存の路線バス停留所を使用した検証を通じて、将来的な自動運転レベル 4 の社会実装に向けた技術・運用両面の知見を蓄積します。

（※）AI 学習走行とは、運転手が手動で運転し、道路の状況や運転操作を AI に学習させるためのデータを集める走行です。

詳細は別紙をご覧ください。

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 11 月 5 日
アイサンテクノロジー株式会社

アイサンテクノロジーと A-Drive、三重県伊勢市の自動運転バス運行事業に継続参画

～市所有の「Minibus2.0」で AI 学習走行を実施し、レベル 4 の社会実装に向けた検証を推進～

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）およびグループ会社の A-Drive 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡部 定勝）は、三重県伊勢市が 2026 年 11 月 2 日から実施する自動運転バス運行事業に、昨年度に引き続き参画します。

今年度は、伊勢市が購入した株式会社ティアフォー製の自動運転 EV バス「Minibus2.0」を使用し、近鉄五十鈴川駅と内宮前を結ぶ区間で、レベル 4 実装に向けた AI 学習走行（※）および自動運転レベル 2 による一般試乗会を実施します。昨年度の走行で抽出した課題を踏まえ、AI の活用と既存の路線バス停留所を使用した検証を通じて、将来的な自動運転レベル 4 の社会実装に向けた技術・運用両面の知見を蓄積します。

（※）AI 学習走行とは、運転手が手動で運転し、道路の状況や運転操作を AI に学習させるためのデータを集める走行です。

■取り組みの背景

伊勢市では、バス運転士の不足への対応と、市民・観光客の移動を支える持続可能な公共交通の確保に向け、自動運転バスの導入を進めています。2033 年の第 63 回神宮式年遷宮を見据え、今後の観光需要にも対応できる交通体制の構築を目指しています。

昨年度は、近鉄五十鈴川駅から内宮までの区間で自動運転レベル 2 による実証を行い、観光地特有の交通環境における走行や、桑名市内の車両とあわせた遠隔監視などを検証しました。今年度は、その成果と課題を踏まえ、実際の路線バス運行に即した検証を進めます。

■今年度の主な取り組み（昨年度との違い）

① AI 学習走行による、道路・交通環境への対応力向上に向けた検証

昨年度の運行では、路上駐車車両を自動で回避できる場面があった一方、手動介入が必要となる場面もあり、成果と課題を確認しました。今年度は、手動運転により走行データを収集する AI 学習走行を実施し、こうした場面への対応力向上に向けた検証と、新たな課題の抽出を行います。

② 既存の路線バス停留所を活用したデータ取得

内宮側の乗降場所は、昨年度の宇治橋前ロータリーから、既存の三重交通バス停留所「内宮前」へ変更する予定です。将来のレベル 4 運行を見据え、路線バスと同様のルート・停留所で走行データを取得し、実運用に即した課題を確認します。

③ 市所有車両を活用した、段階的な実証の実施

今年度は、伊勢市が購入した「Minibus2.0」を使用します。2026 年 11 月から①の AI 学習走行を行い、確認走

行や運行に向けた準備を経て、2027 年 2 月に一般試乗を実施する予定です。段階的な検証を通じて、継続的な運行に必要な技術・運用上の知見を積み重ねます。

■実証概要

実施区間：近鉄五十鈴川駅～内宮前

使用車両：株式会社ティアフォー製「Minibus2.0」1 台〈伊勢市所有〉



自動運転レベル：レベル 2〈運転者が乗車し、必要に応じて運転操作を実施〉

実施期間：2026 年 11 月 2 日～2027 年 2 月 22 日

走行内容：レベル初期 AI 学習走行と一般試乗

※AI 学習走行中は運転手が手動で運転しているため、通常のバスと変わりありません。

※AI 学習走行については運行ダイヤがありません。

※一般の方に乗車いただく「一般試乗」は 2027 年 2 月頃を予定しています。

実施内容・日程は変更となる場合があります。一般試乗の詳細は、伊勢市公式サイトをご確認ください。

伊勢市公式サイト「令和 8 年度自動運転バス実証事業」 ※外部リンクになります。

https://www.city.ise.mie.jp/kurashi/koutsu/jidoubus/1020911.html

■今後の展望

アイサンテクノロジー株式会社と A-Drive 株式会社は、これまで各地の自動運転運行・導入支援を通じて培ってきた技術と知見を生かし、伊勢市、三重交通および関係各社と連携して本事業を支援します。

両社は、走行環境に応じた技術面の検証と、継続的な運行を支える体制づくりを通じて、伊勢市における自動運転レベル 4 の社会実装と、持続可能な地域公共交通の実現に貢献してまいります。

■事業実施体制

伊勢市	実証主体
三重交通株式会社	（委託先）　走行実証の実施、自動運転バスの管理・保管等
A-Drive 株式会社	（再委託先）全体統括、工数管理、事前調査、実証実験・社会実装計画等
アイサンテクノロジー株式会社	（再委託先）計画策定、走行対応、高精度 3 次元地図作成等
株式会社ティアフォー	（協力団体）自動運転システムの技術支援
公益社団法人伊勢市観光協会	（協力団体）地域観光に関する知見・アドバイスの提供等
伊勢商工会議所	（協力団体）地域振興に関する知見・アドバイスの提供等

PRESS RELEASE

	株式会社エボリューション	（協力団体）内宮周辺の交通状況、警備等に関する知見・アドバイス提供等

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】
アイサンテクノロジー株式会社
モビリティ・DX ビジネスグループ
E-Mail　：atam@at45.aisantec.jp